

事業報告書

1. 事業経営戦略

平成 27 年度は、介護事業部門においては介護保険制度の大幅な変更により施設介護から在宅介護へ、軽度介護から重度介護へと介護保険収入の比重が厚くなる中、安定した収入を確保するべく「サンレジデンス湘南」（指定介護福祉施設）の稼働率向上、各部門間の連携強化、「サンステージ湘南」（ケアハウス）は常に 100%の稼働率維持を目標に実施して参りました。

保育事業部門においては、待機児童解消のため定員枠までの園児獲得は当然のことながら、増加傾向にある重度のアレルギー、虐待児童への対応など子育て支援を通しての社会貢献を遂行し、また新規の学童保育所 2 園の開所、平塚市より民間移管先として引き継いだ「サンキッズ金田ほいくえん」の開園準備を実施して参りました。

両部門とも地域密着の生活支援事業者として、更なるサービス向上及び行政からの情報に常に目を向け、更なる拡大の基盤整備を実施いたしました。

2. 平成 27 年度の主な事業報告

介護事業部門では「介護老人福祉施設」の稼働は、年間延べ利用人数 29,711 名（対前年+784 名）、「指定短期入所者生活介護事業」においては延べ利用人数が 5,381 名（対前年+33 名）となり短期入所を含めた施設全体のベッド稼働率は 95.9%（前年比+2.0%）となりました。また、「サンステージ湘南」では平成 27 年度 4 月は 29 室に対し 28 室でスタートいたしましたが、5 月に 1 室ご入居いただいた以降は今現在も稼働率 100%を維持しております。昨年 12 月には 3 名の死亡による退去がございましたが、待機者へ即ご案内することにより、翌月には 3 名のご入居をいただき 100%の稼働を維持することが出来ました。（平成 28 年 3 月 31 日現在 入居率 100%）。

また、保育事業部門においては、3 保育園全体の定員数は 300 名となっており、平成 28 年 3 月 31 日現在の 3 園合計園児数は 366 名（定員比率 122%）となっております。

収支状況は法人全体としては、事業活動収入 1,485,363 千円（前年比+2.8%）、事業活動支出 1,338,684 千円（前年比+3.9%）、事業活動収支差額 146,679 千円（前年比△6.1%）、次期繰越活動収支差額 1,850,508 千円（前年比+18.0%）となりました。また、法人全体の現預金残高は、600,585 千円（前年比+34.7%）となり、別途積立金等として 133,500 千円（前年比△49.1%）を留保する結果となりました。

法人本部

法人本部では、各施設の換算基準及び収入の加算基準を満たす有資格者の人材確保、保育を中心とした法人規模の拡充、寄付金の確保を実施して参りました。また、サン・キッズ湘南第二学童保育所の開園、大磯町から民間移管先として受託いたしました国府学童保育所の引き継ぎによる運営、そして、平塚市からの民間移管先として平成28年開園する「サンキッズ金田ほいくえん」の開園準備を円滑に行い、また平成29年度より平塚富士見地区の包括支援センターを、平塚市からの一般募集にて委託獲得することができ、営業エリアの拡充に成功いたしました。一方、寄付金は587,000円をいただきましたが、前年に-843,000円となりました。今後も寄付金控除対象の法人であることをご説明し、平成28年度の課題事項として寄附金の獲得に努めて参ります。

(ア) 社会福祉事業

① 特別養護老人ホーム サンレジデンス湘南

指定介護福祉施設では、延べ利用人数 29,711 名（対前年+784 名）となり稼働率 96.6%（前年比+2.2%）となりました。尚、退去者は 18 名（対前年△3 名）、また、入院をされたお客様は 43 名（対前年+10 名）でございました。特養の稼働率アップは平成 27 年度の最重要課題事項でありましたが、入居相談業務を 1 名増員し毎月待機者の棚卸しを実施し常に実質待機者を把握することにより、順番上位の待機者へ入居の準備を促し、短期入所から本入居への流れをシステム化したことの効果が表れました。尚、平成 28 年 3 月 31 日現在の入所申込状況は、153 名の方が待機されております。

入居者の介護度は、平成 28 年 3 月 31 日時点で介護度 1 : 3 名、介護度 2 : 10 名、介護度 3 : 15 名、介護度 4 : 25 名、介護度 5 : 30 名となり、平均介護度 3.83（平成 26 年度 3.75、平成 25 年度 3.82）となっております。入居対象者が介護度 3 以上となり、今後一層入居者の重度化が進むことが予想されることにより、入院と死亡の増加が見込まれます。常に待機者の状況把握と居宅事業所と連絡を密に取り合うことによりショートステイのスポット利用を促進し稼働維持に努めて参ります。

事業活動による収支では、介護保険制度の改正により約 8%~11%の収入減が見込まれる中、加算項目を 1 つ 1 つ積み重ねることにより、収入減を最小限に食い止め、事業活動収入 385,676 千円（前年比+2.7%）、事業活動支出 375,280 千円（前年比△1.2%）、事業活動収支差額 10,396 千円（対前年+14,850 千円）、当期事業活動収支差額△3,966 千円（対前年+14,850 千円）となりました。

② 老人居宅介護等事業（指定訪問介護事業）

訪問介護に関しては、ご利用者様の体調不良とご利用回数が多いご利用者様の終了により、延べ件数 6,627 件（対前年△100 件）と前年度に 1.5%減少いたしました。

しかしながら、ヘルパーの人員増と居宅事業所への積極的な営業により、10月以降は前年を大幅に上回るご利用者数をいただいております。

事業活動による収支では事業活動収入 23,316 千円（前年比△0.8%）、事業活動支出 16,112 千円（前年比△9.4%）、事業活動収支差額 7,203 千円（前年比+26.1%）、当期事業活動収支差額 5,195 千円（前年比+40.2%）となりました。

③ 障害福祉サービス事業（重度訪問介護・同行支援）

一昨年度より取り組みを開始いたしました重度訪問介護・同行支援に関しては、延べ件数 476 件（対前年+288 件）となりました。

事業活動による収支では、事業活動収入 13,88 千円（前年比+136.4%）、事業活動支出 5,712 千円（前年比+0.5%）、事業活動収支差額△4,323 千円（対前年+767 千円）、当期事業活動収支差額△4,323 千円（対前年+767 千円）となりました。

④ 老人デイサービス事業（サンレジデンス湘南）

通所介護は平塚市内で約 80 カ所あり、年々ご利用者の獲得が激化する中、レクリエーションの見直し、外部への積極的な営業活動により延べ利用人数 10,223 名（対前年+274 名）と、常に満員の状況が続いております。

事業活動による収支では事業活動収入 108,252 千円（前年比+2.4%）、事業活動支出 82,537 千円（前年比△1.35%）、事業活動収支差額 25,715 千円（前年比+17.1%）、当期事業活動収支差額 22,502 千円（前年比+20.1%）となりました。

⑤ 老人短期入所事業（指定短期入所生活介護事業）

短期入所生活介護に関しては、指定介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）における入院及び退去に伴う空床ベッドを積極的に転換利用して参りましたが、平成 26 年 9 月の神奈川県監査により、静養室 2 室の使用を中止するよう指導があり、4 月～9 月までは前年より実質 2 室の利用可能部屋の減が大きく響き、延べ利用人数 5,381 名（対前年+33 名）となりました。

事業活動による収支では、事業活動収入 62,116 千円（前年比△2.8%）、事業活動支出 20,918 千円（前年比△5.9%）、事業活動収支差額 41,197 千円（前年比△1.1%）、当期事業活動収支差額 40,776 千円（前年比△1.1%）となりました。

⑥ 指定居宅介護支援事業（サンレジデンス湘南）

人員が 1 名減となり平成 27 年度は延べ利用人数 2,085 名（対前年△526 名）となりました。しかしながら、法人内サービスへの送客率は前年の 45.6%から 47.2%となり、法人内への収入増に貢献しております。

事業活動による収支では事業活動収入 36,601 千円（前年比△13.7%）、事業活動

支出 28,790 千円（前年比△17.1%）、事業活動収支差額 7,811 千円（前年比+1.3%）、当期事業活動収支差額 7,729 千円（前年比+1.3%）となりました。

⑦ 地域包括支援センター事業

地域包括支援センターに関しては、平塚市よりの委託事業として、予防介護支援を主とした地域活動を行い、延べ利用人数 1,785 名（対前年△38 名）となりました。富士見地区の業務委託獲得の際には申請書の作成及びプレゼンテーションに貢献いたしました。

事業活動による収支では、事業活動収入 32,599 千円（前年比+1.7%）、事業活動支出 23,517 千円（前年比+4.3%）、事業活動収支差額 9,081 千円（前年比△4.2%）、当期事業活動収支差額 6,437 千円（前年比△5.9%）となりました。

⑧ ケアハウス事業

サンステージ湘南ケアハウスでは、年間で3名の退去者が出ましたが、待機者へ即ご案内することにより、年間を通して平均稼働率 99.6%と高稼働を維持出来ました。平成 28 年 3 月 31 日現在で 29 名（対前年+1 名）となり延べ利用者人数 10,145 名（対前年+516 名）となりました。

事業活動による収支では事業活動収入 136,847 千円（前年比+4.7%）、事業活動支出 129,075 千円（前年比+0.9%）、事業活動収支差額 7,772 千円（前年比+182.2%）、当期事業活動収支差額 949 千円（対前年+5,079 千円）となりました。

⑨ 老人デイサービス事業（サンステージ湘南）

サンステージ湘南デイサービスでは、送迎エリアを広げ新規のご利用者の獲得に努め積極的な営業活動を継続し、延べ利用人数 11,777 名（対前年+170 名）となりました。

事業活動による収支では事業活動収入 115,358 千円（前年比+1.0%）、事業活動支出 101,159 千円（前年比+6.5%）、事業活動収支差額 14,199 千円（前年比△26.3%）、当期事業活動収支差額 11,801 千円（前年比△30.0%）となりました。

⑩ 指定居宅介護支援事業（サンステージ湘南）

サンステージ湘南居宅介護支援では1名の人員減により延べ利用人数 470 名（対前年△219 名）となりました。

事業活動による収支では、事業活動収入 6,065 千円（前年比△31.9%）、事業活動支出 4,570 千円（前年比△33.6%）、事業活動収支差 1,494 千円（前年比△25.8%）、当期事業活動収支差額 1,494 千円（前年比△25.8%）となりました。

⑪ 認可保育園サン・キッズ湘南（保育運業）

平成 27 年度は、年間平均在籍園児は 120.6 名（対前年△3.9 名）となりました。また、特別保育事業として実施する一時保育（休日保育含む）は延べ 1,722 名（対前年+24 名）のご利用をいただく結果となりました。待機児童解消のため保育士を増員し、定員枠を超える園児を獲得出来ました。平成 29 年度からは定員 110 名に変更するべく手続きを進めております。過度な虐待のケースも 2 件報告されており、児童相談所、法人の顧問弁護士に相談しながら対応し、大きな事故に繋がることなく適正に対処させていただきました。

事業活動による収支では事業活動収入 179,860 千円（前年比+15.1%）、事業活動支出 139,496 千円（前年比+0.2%）、事業活動収支差額 40,364 千円（前年比+6.3%）、当期事業活動収支差額△42,124 千円（対前年△70,529 千円）となりました。

⑫ サン・キッズ湘南学童保育室（放課後児童健全育成事業）

近隣に第二学童保育室を新設し園児を分散したため、サン・キッズ湘南学童保育室は、平成 27 年度の年間平均在籍児童数は 43.4 名（対前年△7.5 名）となりました。平塚市内学童保育室でも稀な、お迎え付きの 365 日利用が可能な学童保育室として営業活動を積極的に行い、新設の第二学童保育室と合わせますと大幅なご利用増となっております。

事業活動による収支では、事業活動収入 14,532 千円（前年比△9.8%）、事業活動支出 14,307 千円（前年比△8.1%）、事業活動収支差額 225 千円（前年比△58.5%）、当期事業活動収支差額 225 千円（対前年△58.5%）となりました。

⑬ サン・キッズ湘南学童第二保育室（放課後児童健全育成事業）

平成 27 年度より新設されましたサン・キッズ湘南第二学童保育室は、平成 27 年度の年間平均在籍児童数は 26.1 名となっております。昨今では高学年になっても学童保育を退園されない児童が増え、学童保育所の待機児童が増える中、近隣の松原小学校の児童の受け皿として平塚市からも評価をいただいております。

事業活動による収支では、事業活動収入 10,574 千円、事業活動支出 8,938 千円、事業活動収支差額 1,635 千円、当期事業活動収支差額 1,635 千円となりました。

⑭ 認可保育園サンキッズ大磯（保育運営事業）

定員が 90 名より 120 名となり 2 年目となりましたが、平成 27 年度は、年間平均在籍園児は 134.7 名（対前年+5.8 名）となりました。また特別保育事業として実施する一時保育（休日保育含む）は延べ 1,920 名（対前年△430 名）と大幅減となりました。

事業活動による収支では、事業活動収入 164,511 千円（前年比+1.5%）、事業活動支出 136,369 千円（前年比+6.1%）、事業活動収支差額 28,142 千円（前年比△16.2%）、

当期事業活動収支差額 134,425 千円（前年比+513.2%）となりました。

⑮ サンキッズ国府学童保育（放課後児童健全育成事業）

平成 27 年度より大磯町より民間移管先として引き継ぎましたサンキッズ国府学童保育は、民間法人の柔軟な受け入れ態勢を活かし平成 27 年度の年間平均在籍児童数は 76.9 名と前年 68.9 名に対し大幅に児童が増え、児童、保護者、及び大磯町からも評価をいただいております。また行政の「朝のこども居場所づくり」政策として大磯町より業務委託を受け、7時から8時15分までの保育を1月より実施し、平成 28 年度も継続して続けております。

事業活動による収支では、事業活動収入 17,129 千円、事業活動支出 12,407 千円、事業活動収支差額 4,721 千円、当期事業活動収支差額 4,721 千円となりました。

⑯ 認可保育園サン・キッズ平塚ステーション（保育運営事業）

待機児童解消のため保育士を増員し平成 27 年度は、年間平均在籍園児は 110.3 名（対前年+6.3 名）となりました。また、特別保育事業として実施する一時保育は延べ 1,780 名（対前年△76 名）となりました。駅に隣接する保育園として待機を希望される園児が多く、JR に子会社の事務所となっている部屋を保育園として活用できないか交渉して参ります。

事業活動による収支では、事業活動収入 144,311 千円（前年比△2.9%）、事業活動支出 127,716 千円（前年比+5.5%）、事業活動収支差額 16,595 千円（前年比△39.9%）、当期事業活動収支差額△31,514 千円（対前年△51,996 千円）となりました。

（イ） 収益事業

福祉用具貸与事業

福祉用具貸与事業では新任の責任者による積極的な営業活動の効果により、延べ利用人数 2,430 名（対前年+53 名）となりました。

事業活動による収支では事業活動収入 34,449 千円（前年比+1.6%）、事業活動支出 29,442 千円（前年比△8.2%）、事業活動収支差額 5,006 千円（前年比+279.3%）、当期事業活動収支差額 1,879 千円（前年比+237.2%）となりました。